

2006年3月期 決算説明会



説明資料

2006年5月22日



日比谷総合設備株式会社

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。



2006年3月期 決算の概要



2006年3月期の決算概要【連結】

	2005.3期実績	2006.3期計画	2006.3期実績	前期比(%)	計画比(%)
売上高	540.6 億円	635 億円	627.7億円	16.1	1.2
営業利益	0.1 億円	11 億円	7.3 億円	-	33.6
経常利益	11.4 億円	21 億円	17.1 億円	50.2	18.6
当期純利益	9.2 億円	14 億円	10.1 億円	10.0	27.9
R O E	1.8 %	2.8 %	2.0 %	0.2ポイント	0.8ポイント

2006年3月期の決算概要 【単体】

	2005.3期実績	2006.3期計画	2006.3期実績	前期比(%)	計画比(%)
売上高	452.8 億円	545 億円	521.7億円	15.2	4.3
営業利益	0.9 億円	10 億円	3.3 億円	-	67.0
経常利益	5.5 億円	15.5 億円	10.0 億円	82.5	35.5
当期純利益	3.7 億円	8.5 億円	5.4 億円	45.7	36.5
R O E	1.0 %	2.3 %	1.4 %	0.4 ポイント	0.9 ポイント

2

子会社・関連会社の2006年3月期 決算概要

区分	会社	項目	2005.3期実績	2006.3期実績	増減率(%)
子会社	日比谷通商	売上高	93.1億円	121.0億円	30.0
		経常利益	0.4億円	1.7億円	249.7
		当期純利益	0.1億円	1.1億円	632.4
	ニッケイ	売上高	31.1億円	35.6億円	14.5
		経常利益	0.4億円	1.7億円	266.5
		当期純利益	0.2億円	0.9億円	315.5

上記子会社2社の他、持分法適用の関連会社として、当社グループでは日本メックスがあります。(2006.3期実績:売上高 471.7 億円、経常利益 14.6 億円)
尚、連単倍率は 1.2倍となります。

3

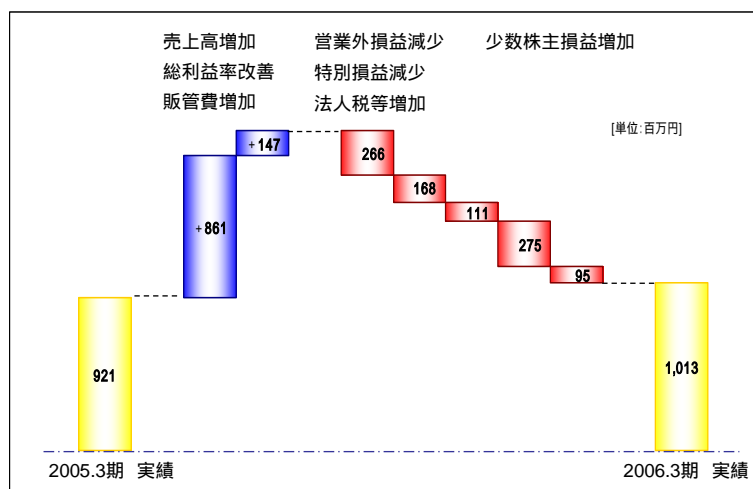
2006年3月期 損益計算書 [連結]

(単位:百万円)

区 分	2005.3期実績	2006.3期実績	増減率(%)
売上高	54,065	62,771	16.1
原価	48,716	56,413	15.8
総利益	5,349	6,357	18.8
総利益率	9.9 %	10.1 %	0.2 ポイント
販管費	5,359	5,625	5.0
営業利益	10	731	-
営業外損益	1,153	985	14.6
経常利益	1,143	1,716	50.2
特別損益	157	45	70.7
法人税等	377	749	98.7
当期純利益	921	1,013	10.0

4

当期純利益増減要因 [連結]



5

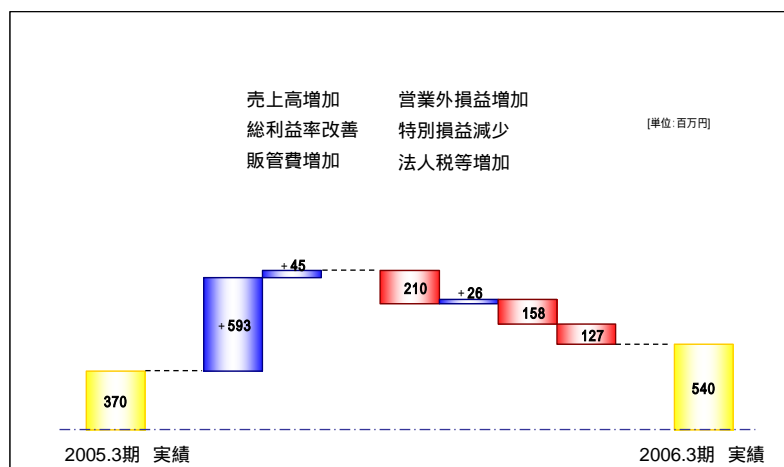
2006年3月期 損益計算書 【単体】

(単位:百万円)

区 分	2005.3期実績	2006.3期実績	増減率(%)
売 上 高	45,284	52,177	15.2
原価	41,372	47,627	15.1
総利益	3,911	4,550	16.3
総利益率	8.6 %	8.7 %	0.1 ポイント
販管費	4,005	4,215	5.3
営業利益	93	334	-
営業外損益	645	671	4.1
経常利益	551	1,006	82.5
特別損益	168	10	93.9
法人税等	349	476	36.4
当期純利益	370	540	45.7

6

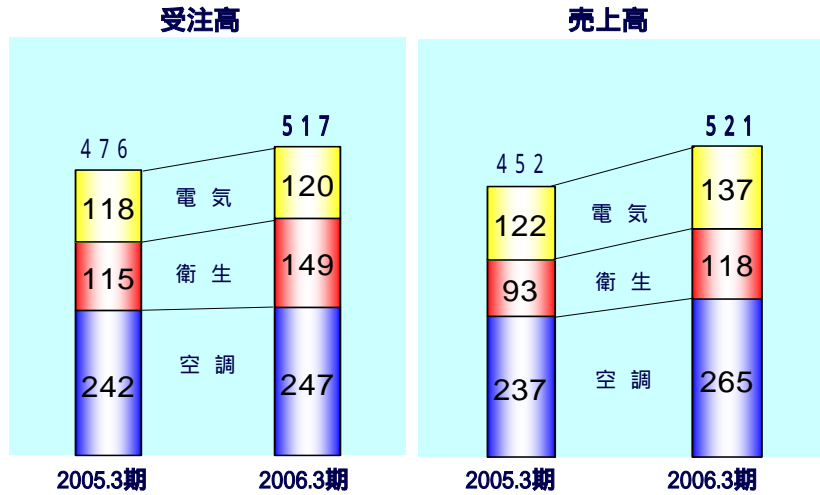
当期純利益増減要因 【単体】



7

分野別 受注高・売上高 【単体】

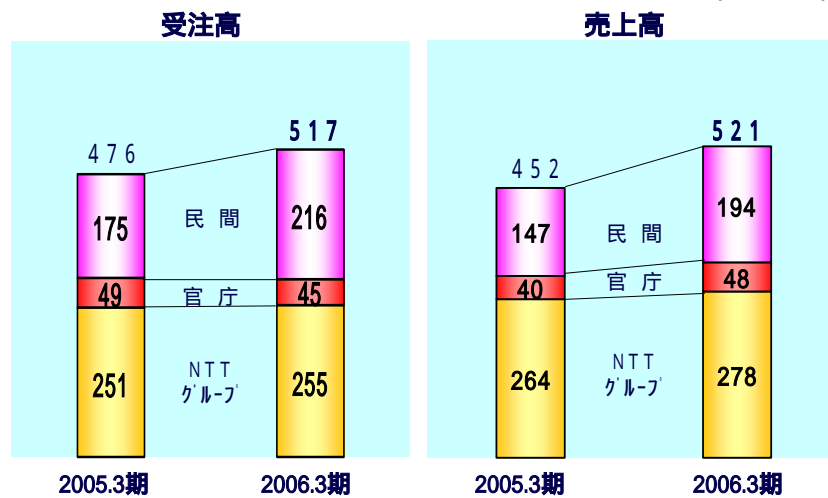
(単位:億円)



8

顧客別 受注高・売上高 【単体】

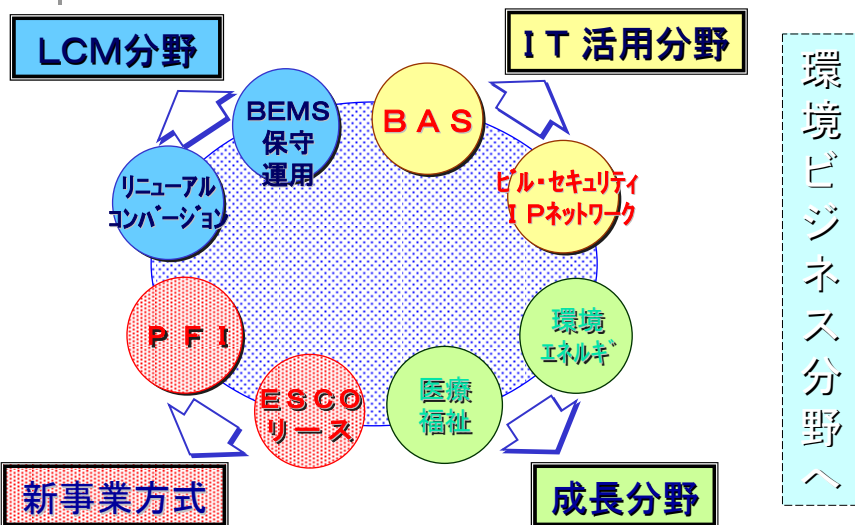
(単位:億円)



9

2006年3月期 事業領域拡大の実績

事業領域の拡大分野



LCM分野

コンバージョン

リニューアル



Lattice shibaura
(日土地芝浦ビル)



横須賀通信研究所

IT活用分野(1)ービル統合監視システム

秋葉原UDX

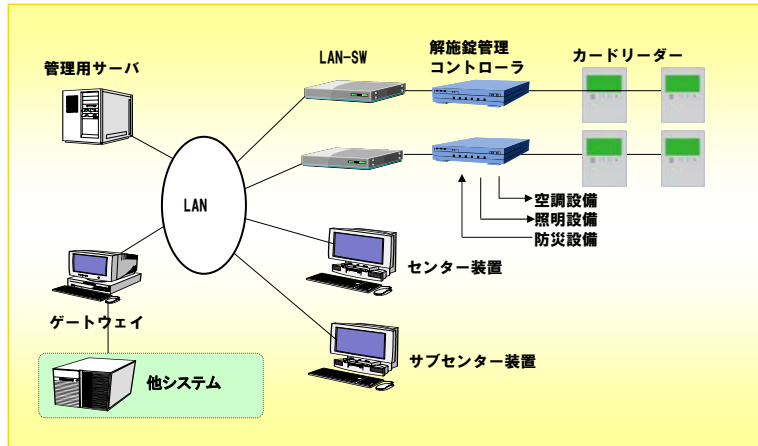
■システム概要



IT活用分野(2)ービル・セキュリティシステム

東京都庁舎入退室管理システム

■システム概要

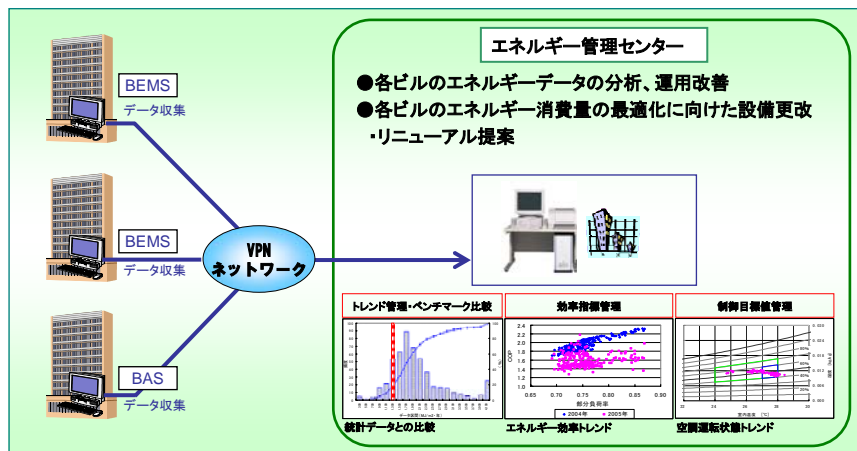


13

LCM分野・IT活用分野・成長分野

エネルギー管理システムの開発

BAS更改・BEMS導入ビルのネットワーク化によるエネルギー管理



14



2006年3月期の 施策の実施状況



重点施策の実施状況

■ 民間工事の受注拡大

→民間工事受注高、前年比24%増

■ 工事コストの低減

→徹底したプロジェクト管理による効果

■ 人事制度の改革

→新たな人事・給与制度及び再雇用制度導入



資本政策の実施状況

■ 配当政策

→中間配当1株につき7円50銭実施し、期末配当については1株につき40周年記念配当10円を含む17円50銭を実施予定。年間配当額25円。

■ 自己株式の取得等

→2006年3月期は10万株の株式を取得。

16



投資・資金活用の実施状況

■ 研究開発への投資

→セキュリティシステム開発費用に投資。
(出入監視装置)

■ 提携、M&A等への資金活用

→2006.3月期については、技術・事業提携等幅広く検討したが未実施。

17

2007年3月期 事業計画の概要

2007年3月期の計画

【連結】

	2006.3期実績	2007.3期計画	増減率(%)
売上高	627.7億円	690億円	9.9
営業利益	7.3億円	15億円	105.5
経常利益	17.1億円	26億円	52.0
当期純利益	10.1億円	16億円	58.4
ROE	2.0%	3.1%	1.1ポイント

2007年3月期の計画

【単体】

	2006.3期実績	2007.3期計画	増減率(%)
売上高	521.7 億円	590 億円	13.1
営業利益	3.3 億円	13 億円	293.9
経常利益	10.0 億円	20 億円	100.0
当期純利益	5.4 億円	11 億円	103.7
ROE	1.4 %	2.8 %	1.4 ポイント

19

子会社・関連会社の2007年3月期 計画

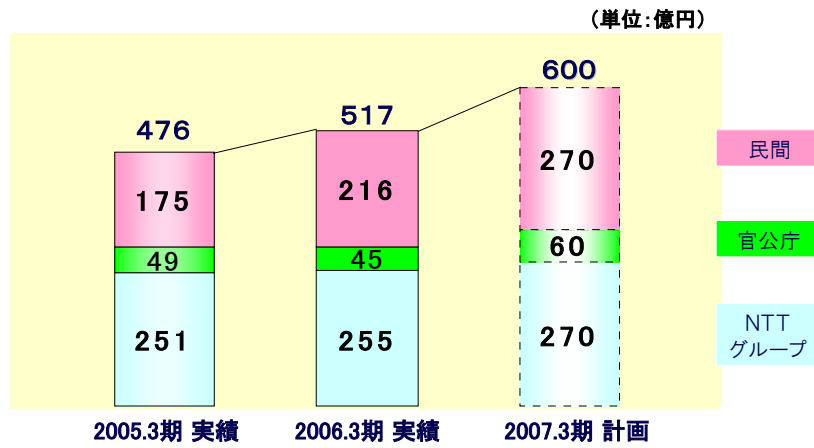
区分	会社	項目	2006.3期実績	2007.3期計画	増減率(%)
子会社	日比谷通商	売上高	121.0億円	108億円	▲10.7
		営業利益	1.6億円	1.0億円	▲37.5
		経常利益	1.7億円	1.0億円	▲41.2
	ニッケイ	売上高	35.6億円	33億円	▲7.3
		営業利益	1.8億円	0.5億円	▲72.2
		経常利益	1.7億円	0.4億円	▲76.5

※ 上記子会社2社の他、持分法適用の関連会社として、当社グループでは日本メックスがあります。(2007.3期 計画：売上高 500 億円、営業利益 15 億円)
尚、連単倍率は 1.17 倍となります。

20

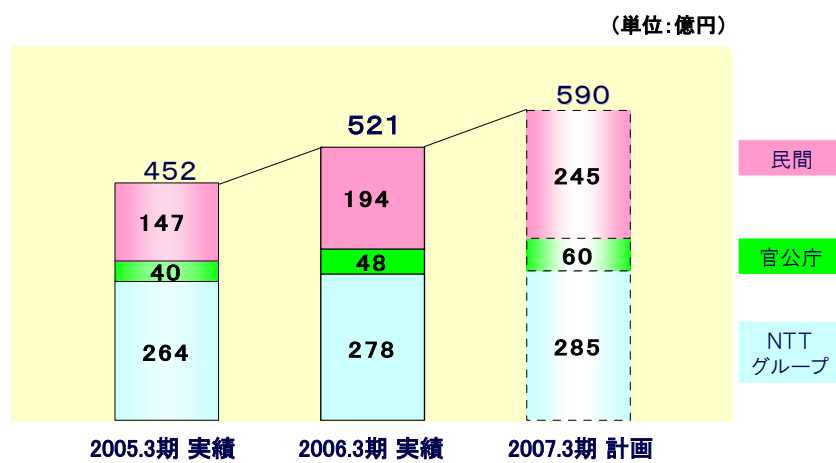
顧客別受注高

【単体】

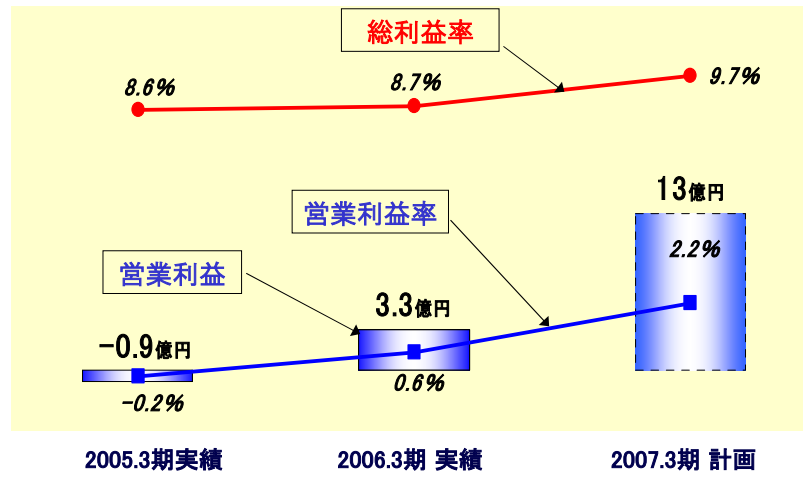


顧客別売上高

【単体】



営業利益・営業利益率・総利益率 【単体】





2007年3月期の施策



重点施策項目

- 民間工事受注時利益の向上
- 工事総利益の確保
- 事業拡大と新規事業展開
- CSR活動の推進



■ 民間工事受注時利益の向上

◆ 新たなビジネスモデル展開による受注拡大

◆ 民間市場でのリニューアル工事の受注拡大

◆ 高利益を見込める建物用途物件の受注拡大

25



■ 工事総利益の確保

◆ 工事要員の稼働調整と適正配置

◆ コスト管理の徹底による利益確保

◆ 民間工事利益の向上

26



■ 事業拡大と新規事業展開

◆ セキュリティ関連事業の市場開拓

◆ PFI事業とエネルギー関連事業の開拓

◆ 従来の枠組にとらわれない事業への取組

27



■ CSR活動の推進

◆ 品質・安全・環境・コンプライアンスに重点をおいた活動

・ステークホルダーを意識したCSR活動の継続実施

◆ CSRの浸透と社員の意識改革

・社員のスキル向上に向けた水平展開

◆ 活動状況の積極的な情報開示

・CSR報告書・アニュアルレポートの発行、中間決算説明会等

28



資本政策及び投資・資金活用



資本に関する政策

■ 配当政策

- ・ 長期にわたり安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、業績に見合った成果の配分を積極的に行う。
- ・ 当面、当社の内部留保等の現状を勘案し、1株当たり15円の普通配当を下限に、単独ベースでの配当性向を60%とすることを新たな目標とする。

投資・資金の活用

■ 研究開発等への投資

- ・セキュリティ関連技術、エネルギーマネジメントシステムなどの研究開発に積極的に投資

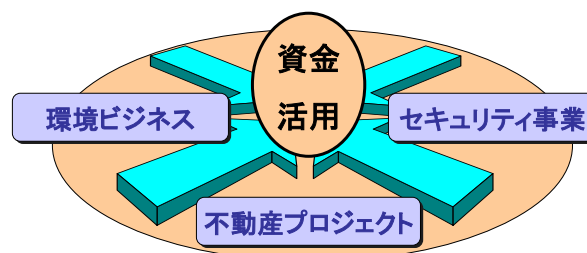
■ 提携、M&A等への資金活用

- ・グループ戦略事業からM&Aまでを幅広く対象とし技術・事業提携や新規事業会社設立までを検討

30

資金活用による事業領域の拡大

- 環境ビジネス
- セキュリティ関連事業
- 不動産プロジェクトへのエクイティ出資



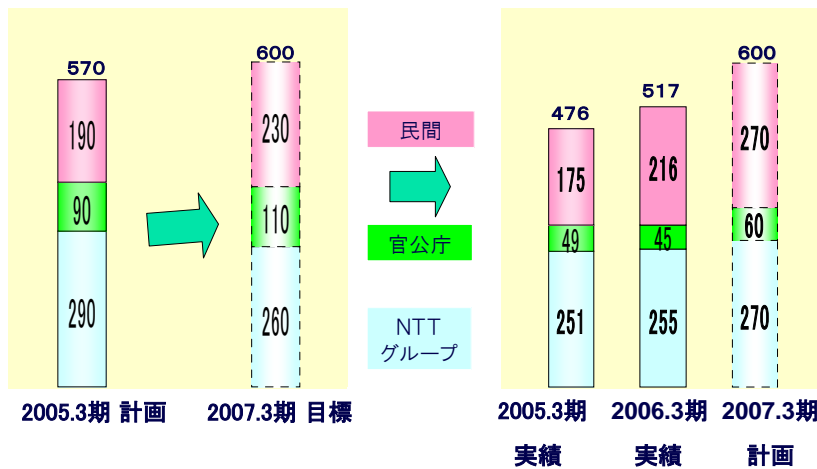
31

中期経営計画 HIBIYA21 2006の 進捗状況

中期経営計画の進捗状況 受注高【単体】

中期経営計画

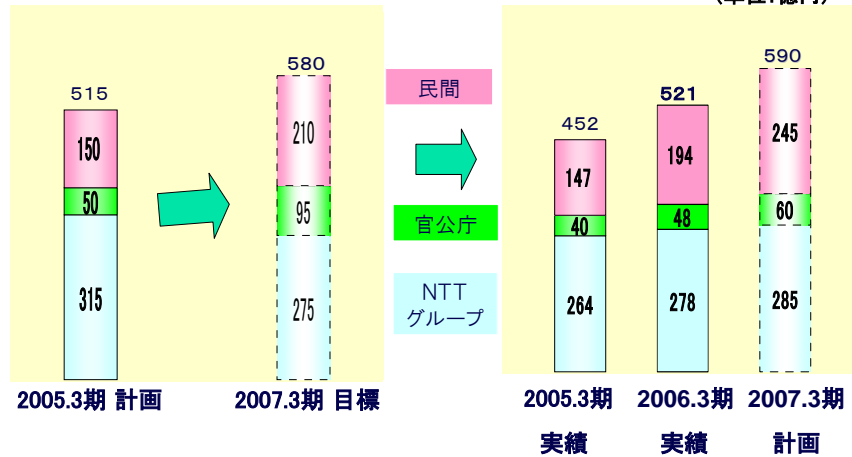
(単位:億円)



中期経営計画の進捗状況 売上高【単体】

中期経営計画

(単位:億円)

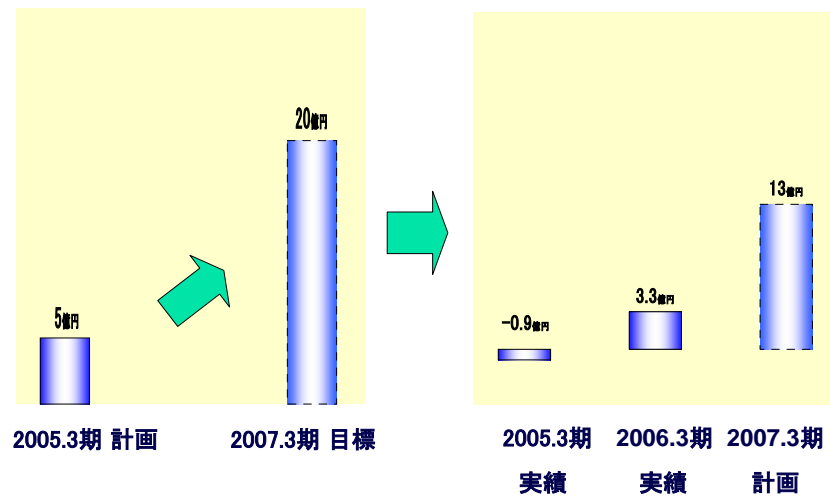


33

中期経営計画の進捗状況 営業利益【単体】

中期経営計画

(単位:億円)



34



HIBIYA Vision



HIBIYA Vision

私たちは、“夢と希望と誇り”を
持てるHIBIYAを実現します

- 創意と工夫で事業の発展に取組み、高い技術力と収益力を確保
- “ベストパートナー”と呼ばれている会社
- 常に新たな技術・分野に挑戦する会社
- 新しい事業に積極的にチャレンジし、社員から社長を輩出